

## 日米共同訓練の規模縮小とオスプレイ参加の中止を求める意見書（案）

防衛省は4月、米軍普天間飛行場（沖縄県）の米海兵隊輸送機MV 22オスプレイの訓練移転を、2020年1月から3月の期間に道内で行う日米共同訓練「ノーザンバイパー」で計画していることを明らかにした。

オスプレイは墜落事故を繰り返し、他の米海兵隊運用機より重大事故率が高い輸送機であり、ひとたび墜落事故が起これば道民の生命と財産が犠牲となる。また、昼夜を問わず低空飛行を繰り返すオスプレイの騒音は凄まじく、酪農業への影響や環境破壊など、平穏な日常生活に多大な被害をもたらすことは必至であり、そのようなオスプレイの訓練参加は許しがたく、断じて認めることはできない。

さらに、国境に接する北海道において、米海兵隊と自衛隊の約3,000人が参加し、オスプレイが広域的に飛行する大がかりな日米共同訓練は、隣国ロシアを刺激しかねず、北方領土問題の解決という私たちの悲願を大きく後退させるものである。

よって、国においては、国民の生命・財産及び安心・安全な生活を守るため、日米共同訓練の規模縮小とオスプレイの参加を中止することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月11日

北海道江差町議会議長 打越 東亜夫